



哲学の入門講座として、比較的わかりやすいテーマを中心に、哲学の基礎・面白さ・奥深さを学びます。身近な問いや、親しみやすい文化的な問いを交えながら、哲学的な考え方を学びます。

I.7/2

日本の伝統芸能を使って哲学する

II.7/23

なぜ論理学は哲学にとって重要なのか

III.7/30

哲学はどこにあるのか

IV.8/27

哲学の初め、初めの哲学

V.9/3

絵画を「読む」——美術史の視座

講師・内容の詳細は裏面をご確認ください

対象:

大和市内在住・在勤・在学の方

※市外にお住まいの方は、6/4から、定員に空きがあれば申込み出来ます。

会場/定員:

大和市文化創造拠点シリウス6F

①大和市生涯学習センター601講習室/先着50名

②サテライト会場(渋谷学習センター)/先着10名

※サテライト会場については裏面をご確認ください。

費用: 2,000円(全5回分)※学生は半額

講座お申込み(シリウス会場)

二次元コード



申込み: 5/28(日)10:00~電話または窓口ホームページから上記の二次元コードからも申込可

哲学のエッセンス

思考と問いの探求

基礎・本質・真髄



いずれも日曜日(全5回) 14:30~16:30

申込み・お問い合わせ

大和市生涯学習センター

TEL 046-261-0491

〒242-0016

神奈川県大和市大和南1-8-1

アクセス |

小田急江ノ島線・相鉄本線大和駅徒歩3分

4/28 YAMATOMIRAI

イベント情報サイト OPEN!

やまとみらい7施設のイベント情報をご紹介します。ジャンル別・施設別に検索できます。



※天候や交通機関の運行状況及びその他不可抗力により、開催が中止となる場合がございます。

主催: やまとみらい(大和市文化創造拠点等 指定管理者) ※駐車場の数に限りがありますので公共交通機関でご来場ください。



I.7/2(日) 日本の伝統芸能を使って哲学する

能楽・歌舞伎・落語など、日本の伝統芸能には、諸行無常や色即是空といった仏教的な思想が、多少とも入りこんでいる。一方で、芸能には、五穀豊穡と子孫繁栄を言祝ぎ、人の心の動きを見据えるという、芸能ならではの性格もある。ここでは、実際にいくつかの芸能を視聴しつつ、芸能を包括している哲学的な磁場について考えてみたい。



専修大学文学部教授
出岡 宏氏

II.7/23(日) なぜ論理学は哲学にとって重要なのか

哲学の歴史を振り返ってみると、そこに必ずと言っていいほど、論理または論理学が登場してきます。有名な哲学者の著作には「論理学」のようなタイトルの作品がよく含まれています。では、論理学とはどのような学問であり、それと哲学の関係はどうなっているのでしょうか。実際には、哲学そのものが多様であり、また論理学そのものも大きく変化してきた訳ですから、この問いに答えるのは簡単ではありません。しかしそこには一貫して変わらない哲学と論理学の関係があり、同時に現代では論理学の変革に影響を受け哲学自体が大きく変動してきたという歴史があります。この講義では、そのあたりの事情を、そもそも論理学とは何ぞやということを含めて、できるかぎりわかりやすく説明したいと思います。(なお、予備知識は一切必要ありません。)



専修大学文学部教授
金子 洋之氏

III.7/30(日) 哲学はどこにあるのか

「哲学」にどんなイメージがあるでしょう。ソクラテスなど、昔の遠い国の哲学者が考えたこと、かれらが遺した言葉、でしょうか。すると今では、かれらが書いた本の中のみ哲学はあることになり。しかしそれは間違いです。じつは、今、この文章を読んでいるみなさんの中にこそ哲学はあります。どういうことでしょうか。



専修大学文学部教授
貫 成人氏

IV.8/27(日) 哲学の初め、初めの哲学

プラトンやアリストテレスによれば、哲学の初めは「驚き」にあるといます。では一体私たちは何に驚いて哲学を始めるのでしょうか。そもそも驚きとは何でしょうか。あるいは、プラトンとアリストテレスとの主張に何か違いはあるのでしょうか。アリストテレスとの主張に何か違いはあるのでしょうか。このような問いを携えながら、プラトンやアリストテレスの著作を紹介しつつ、哲学の初めとは何かについて、そしてできたらそもそも人はなぜ初めを問うのかについて、考えてみたいと思います。



専修大学文学部教授
高橋 雅人氏

V.9/3(日) 絵画を「読む」——美術史の視座

美術史という学問分野は、ある作品(群)についてテーマや素材・技法のみならず、その文化的・社会的背景を明らかにすることによって、より深く絵画を「読む」ことを目的にしています。この作業によって、絵画を観る者には新しい発見がもたらされ、絵画をより深く味わい、いっそう愉しむことができるようになるでしょう。本講座では具体的に、イタリア・ルネサンスの異教的神話画と平安時代の浄土教美術の中から幾つかの作品を取り上げ、多くのスライドを映しながらお話いたします。



専修大学文学部教授
伊藤 博明氏

◎この講座はサテライト受講も選択できます◎

【サテライト受講とは】

メイン会場で行っている講義の様子を、別会場のスクリーンに映して中継をご覧いただく方法です。現地に行かなくても受講できます(質疑応答は可能です)

大和市渋谷学習センター(308会議室)

■申込 : 電話(046-267-2027)または窓口、WEBからもお申込みいただけます。

■定員 : 10名(先着)

■対象・参加費 表面記載内容と同じです。

渋谷学習センター
サテライト
お申込み



二次元コード